

第 31 回日夕発第 51 号
2019 年 5 月 9 日

各都道府県協会 会長・正会員・事務局長 各位
各部会会長・事務局長 各位

一般社団法人 日本クレ射撃協会
競技委員長 佐藤 和夫
審査委員長 中園 功一
(※公 印 省 略)

今年度の競技ルール(飛行距離)の変更の意義と目標について

表記内容について当委員会より説明不足の折、地方公式大会を主管する各位のご理解に齟齬が発生しておりますため、今一度ご理解を賜りたくご通知申し上げます。

1 JCSA ルール採用の経緯

従来の地方公式大会は ISSF ルールを謳い^{うた}実施されてきましたが、実態は、クレセット（飛行距離・角度）のみ ISSF ルール通りとし、他の競技運営に関することは全てルール通り実施されていませんでした。

- (例) ◇100・200 個撃ち
◇男子・女子の区分なし
◇ファイナル戦なし
◇公式練習 (PET) なし
◇式典 (開・閉会式) なし
◇専従の審判員・審査団なし

単にクレセットのみ ISSF ルール通りとした大会を、ISSF ルール公認としては扱うことは問題があるため、ISSF ルールによる公式大会公認は以下の全ての要件を満たす必要があります。

- (要件) ◇大会開催は 2 日間で 125 個撃ち
◇各ラウンドは専従審判員が司る

◇ファイナル戦はタイマーを使用し、ISSF レフェリー資格保有者が審判員を務める

◇ファイナル戦は観^みせる競技を意識し、MC や音響演出が必須

◇厳粛な競技会であるが故、式典（開・閉会式）は必須

このような要件を満たした大会は、現状では本部公式大会（春・夏・秋・全日本選手権）のみと考えておりますが、今後は、要件を柔軟化したブロック単位の ISSF ルールによる公式大会を検討中であり、また、現在でも、地方協会で開催要件を満たしていれば、ISSF ルールによる地方公式大会の単独開催も可能としています。

競技委員会では、ISSF ルールとは単にクレーセットのみに留まらず、正しい競技運営が為されて初めて正当化されると判断しておりますが、専従審判員の確保等、地方協会の苦しい現状を鑑み、昨年度より JCSA ルールを採用し、旧来の競技運営方法でも公式大会として認めていくことを決め、更には、撃ち易いクレーセットを導入した経緯です。

2 JCSA ルール採用の目的・意義

各位もご承知の通り、当協会理事会では、『国体毎年開催復帰』を至上命題として、会員数増、特にジュニア層や女性層の拡充に傾注していくことを方針決定しております。

当協会には 2,000 名を超える会員皆様が登録されているところ、個々の射撃生活の目標或いは目的は様々であると拝察します。

その為、当協会の公式大会における競技ルールは、ISSF ・ JCSA ・ MASTERS & BIGNNERS の 3 種とし、幅広い年齢層へ大会参加の機会を設けることとしております。

特に、国民体育大会においては、幅広い年齢層の選手参加を想定し、一例を挙げれば、競技スポーツの頂点が全日本選手権大会、生涯スポーツの頂点が国民体育大会と位置付けております。

国民体育大会が生涯スポーツ頂点であるため、昨年度の第 73 回福井国体より JCSA ルールに基づくクレーセットを導入し、各地方公式大会は国体都道府県予選を兼ねることが多いため、JCSA ルールにより実施されていると考えております。

つまり、ISSF・JCSA・MASTERS & BIGNNERS、どの競技ルールを採用し公式大会を実施するのか…というご判断は、各地方協会の選択と自主性の尊重となります。

3 JCSA ルールの飛行距離変更の目標・目的

今年度からの飛距離変更については、主に次の目標・目的を考えております。

◇クレ射撃の基礎技術の習得（飛行距離に対処可能な技術）

◇中^あて続ける射撃の楽しみを再認識

◇地方公式大会や国民体育大会における競技得点の向上

◇生涯スポーツとして位置付けられたクレ射撃競技会の開催

◇女子・若年選手層が参加しやすい競技会の開催

◇ビギナーや高齢者などが楽しめる競技会の開催

* 高齢者の中には、仕事の定年退職後にクレ射撃を始める方もいらっしゃいます。

以上の事由により、競技・審査委員会では飛行距離の緩和を今年度より実施することを決め、理事会へ上程・承認を経た次第です。

4 その他

去る2019年3月29日付け本会発第388号文書で各位へご通知申し上げます通り、新年度のJCSAルールによる地方公式大会のクレセットについては、次の通りご案内申し上げます。

	飛 距 離	高 さ（許容範囲）	角 度（許容範囲）
（トラップ）	65m±1m	±50cm	±5度
（スキート）	60m±1m	—	—

前述の許容範囲を上手く使用し、選手が撃ち易いクレセットを行って下さるよう、改めてお願い申し上げます。

本部では、定款（会則）における団体目的として、クレ射撃の普及・振興と競技力の向上に寄与することとしており、各地方協会も同様であります。

その為、競技団体としての大会開催の意義を再認識するためにも、大

会開催にあたり、式典（開・閉会式）実施、有資格審判員の配置、入賞選手への表彰状、賞品の授与について、一層のご理解とご協力のほどを宜しくお願い申し上げます。

なお、参考までに、ISSF・JCSA・MASTERS & BIGNNERS における各セットの比較表を示しますのでご参照下さい。

《実施ルール一覧表》

区 分	ルール種別	種目別	飛 距 離	高 さ 許容範囲	角 度 許容範囲
競技スポーツ	ISSF	トラップ	76m (±1m)	±20 c m	
		スキート	68m (±1m)		
生涯スポーツ	JCSA	トラップ	65m (±1m)	±50 c m	±5 度
		スキート	60m (±1m)		
高齢者普及	MASTER	トラップ	60m (±1m)	±50 c m	±5 度
		スキート	55m (±1m)		
新人普及	MASTER	トラップ	60m (±1m)	±50 c m	±5 度
		スキート	55m (±1m)		
狩猟者普及	COMPAK	コンパック	(* 詳細検討中)		

以 上